

令和元年7月 仙台市文化財保護審議会 会議録

- 1 開催日 令和元年7月10日(水)
- 2 開会及び  
閉会の時刻 10時30分開会 11時30分閉会
- 3 開催場所 仙台市役所上杉分庁舎 教育局第1会議室
- 4 出席委員氏名 深澤百合子会長、佐々木理副会長、安藤直子委員、  
佐治ゆかり委員、高橋次男委員、近澤裕子委員、  
七海雅人委員、馬場たまき委員、
- 5 事務局職員 佐藤生涯学習部長、長島文化財課長、長谷川管理係長、  
佐藤整備活用係長、荒井調査指導係長、平間調査調整係長、  
鈴木仙台城史跡調査室長
- 6 会議の次第
  1. 開会
  2. 会長あいさつ
  3. 事務局職員紹介
  4. 議事録署名人指名
  5. 報告事項
    - ①令和元年度文化財課主要事業について (資料1)
    - ②国登録文化財の登録について (資料2)
    - ③その他
  6. 閉会
- 7 傍聴者 なし

## 8 会議の概要

### 報告事項

#### ①令和元年度文化財課主要事業について

○管理係長より資料1にもとづいて説明し、文化財課長および各係長より補足説明を行った。「1文化財の保護管理」は、公有化する土地の買い上げ予定件数減により、予算額が減少している。「3埋蔵文化財発掘調査」は、受託事業が昨年度よりやや多いと見込んでいる。今年度の主な調査予定は次のとおり。

- ・史跡郡山官衙遺跡では平成23年以降中断していた範囲確認調査を再開する。
- ・史跡仙台城跡では、巽門跡脇の登城路と三の丸跡土塁の発掘調査を実施し、造酒屋敷跡については調査報告書を作成する。
- ・民間事業として長町駅東遺跡第14次発掘調査を実施する。今年度は調査対象面積の約半分を調査予定。その他、桜ヶ岡公園遺跡第6次発掘調査報告書を来年度刊行予定であり、昨年度実施した京ノ中遺跡発掘調査の報告書を今年度刊行予定である。
- ・桜ヶ岡遺跡第5次調査は、市民プールあった場所の再整備に伴うもの。鴻ノ巣遺跡隣接地では、試掘確認調査を行う。

#### ②国登録文化財の登録について

○管理係長より資料2にもとづいて説明。計9件の文化財について、文部科学省文化財審議会により登録に相応しいとの答申がなされた。大きく2つに分かれる内容であり、1つが宮城野納豆製造所の建造物群、もう1つが東北大学所蔵の建築関係資料群である。

当件について、委員より以下の質問・意見があった

1) 宮城野納豆製造所は、現在もこの場所で営業しているそうだが、関連し合う建物群全体が登録された場合、現在使われている部分とそうでない部分を、分割して把握できるものなのか。もし今後補修等が見込まれるようであれば、登録要件に影響はないか、との質問があった。

この質問に対し、以下のように回答した。

・熟成棟の中の文化室とボイラー室・亜炭小屋以外の建物は現在も使われている。使われていることで評価が高まる面もあると思うが、建物として評価されていることから、もし今後納豆製造に使われなくなったとしても、建物としての価値づけは続くと考えられる。また、今後修理の必要が生じた場合は、許可申請ではなく届出によって実施できることになる。ただしその場合でも、できるだけ現在の雰囲気を残した修理となるように所有者と相談しながら進めていく。

2) 納豆の製造過程は、無形文化財のように価値づけて考えることができるか、との質問に対し、以下のように回答した。

・納豆の近代的製法として評価されている部分であるが、現代における無形文化財と

いうよりは、経済活動のような、異なる方向からの評価が可能ではないかと考える。食産業の振興や、仙台の名産品として宮城野納豆製造所が取り上げられるような可能性はあるのではないか。

3) 宮城野納豆製造所の展開などを知ることができる資料類が残っていれば、一緒に保存活用を考えるべきではないか、との意見に対し、三浦式納豆を紹介した本や賞状等はあるものの、図面や文書等はあまり残されていないようだ、と回答した。

4) 商業展開等を示すアーカイブズも含めて文化財と考え、そうした視点から調査等を実施して大切な資料が廃棄されることのないよう留意すべきである、との意見があった。この意見に対し、文化財課主催の文化財展では、パネル展示とあわせて納豆菌を入れた特注のガラス瓶や、大豆のふりい等を借用し、展示したことを補足した。

5) 文化財であることを示すサインや、実際に納豆の製造が行われていることを地域の方に知って頂くための方法について質問があった。この質問に対し、生活と密接に結びついている登録文化財等について説明板設置等を行った事例はないが、所有者の考え等も含めて表示については十分検討していきたい、と回答した。

6) 製造所は、納豆の製造過程の見学等に対応されているか、との質問に対し、食品であるため、衛生面の配慮から、製造している空間内ではなくガラス張りの外側から見学可能であり、申し込みに対してその都度対応されている。また、かつて倉庫として使っていた部分を貸しスペースとしており、その利用者が見学される場合もあるようだ、と回答した。

7) 文化財建造物に対して修繕等を行う場合、どの程度制約があるか、また、歴史資料の保管場所についてはどのような制約があるか、との質問があった。この質問に対し、以下のように回答した。

・登録文化財の建物の修理は原則として届出制となっており、許可がなくとも実施できる。また外観の四分の一以上を変える時は現状変更の届出が必要である。ただし、何らかの施工予定がある場合には、その都度文化財課へご相談いただき、方向性や施工後の雰囲気等について打合せたうえで進めるようにしている。歴史資料についても、保管場所が変わることに関する手続きは特に必要ではないが、その都度関係者と情報を共有しながら進めることとしている。

8) 建物が文化財登録を受ける場合、建物の外観の部分が文化財として考えられ、建物内部の改修や変更はかまわないということであろう。ヨーロッパの石造建造物で、内部は空調など近代的な設備が置かれても、文化財としての価値が認められている、との意見があった。この意見に対し、建物の規制は主に外観に関するものではあるが、内部に関しても雰囲気が変わらないよう、できるだけ文化財課へご相談いただけるよう所有者へ依頼していることを補足した。

9) 建物の改修にかかる費用負担についての質問があり、工事費は所有者負担であるが、国登録文化財の外観修理については美装化に関する補助事業を申請でき、対象事

業の5割を上限として補助を受けることができる。ただし内部修繕や全体改修については、設計管理費の5割が補助対象である、と回答した。

10) 酒蔵等では建物内部に固有の菌があることに意味がある場合が多い。とすれば、仮に建物内部を近代化する場合、外観は変わらないが価値の本質が変わることもあり得るのではないかと、との質問があった。この質問に対し、制度上規制がかかるのは外観に対してだけであるが、本質が変わるような工事が実施されるのであれば、文化財所有者との事前相談を実施することが望ましい。また蔵付きの菌については、宮城野納豆の製造法であれば、あまり大きな問題とならないように思われる、と回答した。

### ③その他

○委員より以下の意見があった。

1) これまで、文化財課に対して文化財教諭による出前授業を小学校として依頼していた。この6月には、文化財課へ依頼し、校内の展示ケースを使用した学区内の遺跡出土品展示コーナーを設置した。土器・鍬・石器などがあり、解説もわかりやすく、生徒や地域の方にも好評である。

この意見に対し、以下の説明を行った。

・特に学区内の重要遺跡について、生徒や父兄の方がご存知と思われる場所を選抜した。

2) 文化財課所管の木製民具を借用したことがあり、その収蔵庫は高砂(向田)であった。しかし収蔵庫には空調がなく、木製の生活用具等にとっては良くない環境と思われた。温湿度変化による状態の悪化が懸念される資料に対しては、予算の制約もあると思うが、空調設備が必要と考える。木製の桶であればタガが外れるといったことが起こるため、こうした文化財の管理には注意が必要である。文化財の活用にあっても、例えば小学校の総合学習で講師を依頼された際には、名取川や名取(郡)地域をテーマとしてウナギを採集する簍やヤスなどを借用した。そうした資料は比較的状态が良かったが、発掘も大変ではあるが、遺物や資料の管理には温湿度に対する配慮をお願いしたい。

この意見に対し、以下の説明を行った。

・出土した木製品については、薬剤処理や真空凍結乾燥処理など、温度変化に耐えうるよう処理した上で保管する場合がある。また、文字が書かれた木簡など貴重な木製品は、仙台市博物館の収蔵庫で保管している。しかし保管数が増大すれば、民俗資料のほか、出土木製品や図面などの紙質資料等も含め、それらを保存する収蔵施設は本来必要であると考え。仙台市博物館とも協議しながら、仙台市の資料収蔵状況の改善に取り組んでいけるように検討していく。

3) 東北電力グリーンプラザで開催していた文化財展は、観覧者が少なく、展示ケースの場所も奥まっていたためわかりにくかった。入口に近いケースを使用したり、観

覧者を誘導する仕掛け等があると良い。

この意見に対し、以下の説明を行った。

- ・会場使用にあたって制約があり、入口での看板掲出や誘導のために人が立つことはできない。また、展示ケースの場所も東北文化情報コーナーとして決まっているため、変更等は難しい部分がある。ただ、周知方法等については、会場側と相談の上で新しい試みを行ってみたい。